

## <第19回鳥取県少年サッカーU-11大会開催要項>

### ◆開催要項

---

#### 1：趣旨

サッカーの楽しさをさらに深め、試合を通じてさらなる技術の向上とフェアプレーの精神を養い、健全な心身の育成・発達を図ることを目的とした大会である。

#### 2：主催

(一財)鳥取県サッカー協会

#### 3：主管

(一財)鳥取県サッカー協会第4種委員会

#### 4：後援

鳥取県教育委員会

#### 5：協賛

モルテン

#### 6：期日

2016年3月4日(土) 4チームによる予選リーグ  
3月5日(日) 各組1、2位による決勝トーナメント

#### 7：会場

湯梨浜町東郷運動公園多目的広場他

#### 8：参加資格

- ・日本サッカー協会第4種及び女子(小学生)加盟登録した団体。
- ・小学校5年生以下の男子、女子。
- ・各地区予選を勝ち抜いた16チーム  
(東部6、中部4、西部6)

#### 9：チーム編成と条件

D1：チームの編成は、監督1名、コーチ2名 選手16名以上24名以内とする。

- ・ベンチに入れる人数は、監督1名、コーチ2名、選手16名とする。
- ・選手は健康であり、かつ保護者の同意のあった選手に限る。
- ・参加全チームは傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に必ず加入していること。

#### 10：表彰

優勝チーム	トロフィー	賞状
2位チーム	楯	賞状
3位チーム	楯	賞状

## 1 1 : 競技規則

- ・最新の（公財）日本サッカー協会 8 人制競技規則による。  
選手証は、必ず写真を貼って持参すること。  
(選手証もしくは仮選手証がない場合は出場できません。)
- \* 仮選手証については W e b 登録した画面のイメージを印刷したものでなく  
県協会より払い込みが完了した文書や証明書が必要です。
- ・ベンチ内では、監督・コーチの中で 1 名以上は、ライセンスカードを首から  
かけて審判、役員に見えるようにしてください。
- ・地区代表を勝ち抜いた 1 6 チームによる予選リーグ、決勝トーナメントで  
行う。
- ・競技時間はすべて 1 2 分× 3 ピリオドとし、第 2 と第 3 ピリオド間のインタ  
ーバルは、5 分とする。
- ・第 3 ピリオドは約 6 分が経過したところでエンドを交替する。
- ・予選リーグは勝ち点制（勝ち 3 点、負け 0 点）を取る。3 6 分で勝敗が決  
しないときは P K 戦（3 人ずつ）をする（P K 勝ち 2 点、P K 負け 1 点）。  
それでも決しないときは、得失点差、総得点、抽選の順に順位を決定する。  
決勝トーナメントについては、P K 戦（3 人ずつ）によって次に進出する  
チームを決める。  
準決勝、3 位決定戦、決勝戦については、6 分間の延長（前半、後半）を  
行い、尚決しない時は P K 戦によって次に進出するチームを決める。
- ・第 1 ピリオド、第 2 ピリオドは、選手 8 名がすぐに交代（G K は必ず）。  
第 3 ピリオドは 1 6 人の中から自由な交代による。選手は 3 ピリオド続け  
てプレーしてはいけない。（延長戦は、これに限らない）
- \* 極端な身体の不調の場合を除き、全員が必ず 1 ピリオド以上 2 ピリオド以  
内プレーをするものとする。
- \* 延長戦においては、前半と後半に 8 名（G K を含む）交代を行う。
- ・ボールは、少年用ボールとし、ゴールは原則として少年用とする。  
( 2 1 5 c m × 5 0 0 c m )
- ・出場するチームは必ず濃淡 2 着の背番号のあるユニホームを用意すること。  
( G K も G K 用 2 着、フィールドユニホーム 2 着が必要です。)
- ・金属底ポイント・取り替え式ポイント及び主審が危険と認めたスパイクは  
使用してはならない。（危険と認めたスパイクとは、プラスチック底でも  
角が尖ったりしているものをいう。）  
少年チームとしての正しいマナーを身につけて参加すること（少年サッカ  
ー選手として、少年チームの監督としてのマナー、正しい応援マナー。等）  
サポーター（保護者等）の暴言等においても監督は退席をする。

## 1 2 : 懲罰

- ・地区予選会と県大会は懲罰規定上の同一競技会とみなし、地区予選会終了時点で退場・退席に  
よる未消化の出場停止処分は県大会において順次消化する。
- ・本大会は、J F A 「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- ・大会規律委員会の委員長は本協会第 4 種委員長会長とし、委員については委員長が決定する。
- ・本大会期間中に警告を 2 回受けた選手は、本大会の次の 1 試合に出場できない。
- ・本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の 1 試合に出場できず、それ以降の処

置については規律委員会において決定する。

競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

- ・ J F A 諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

1 3 : 監督会議および開会式

監督会議を 9 時より、開会式を 9 時 3 0 分より湯梨浜町東郷運動公園多目的広場本部で行う。全チーム監督、選手とも必ず出席のこと。

1 4 : 試合日程及び審判について 別紙試合日程の通り。(後日お送りします。)

審判については、必ずしも予定どおりになりませんが御協力ください。

1 6 : 交通・宿泊 各チームにて対応すること。

1 7 : 傷害保険 チームの責任において傷害保険に加入すること。

1 8 : 応急処置 大会期間中に疾病・障害が発生した場合、大会側は応急処置のみを行うものとする。

1 9 : その他

上位 2 チームを J A 全農杯チビリンピック 2016 小学生 8 人制サッカー i n 中国  
兼 第 1 4 回中国ユースサッカー U - 1 2 ジョイフル大会に鳥取県代表として推薦する。( 2 0 1 6 年 4 月 9 日 ( 土 )、1 0 日 ( 日 ) 山口県開催です)

◆鳥取県として

- 1－各地区の登録時点で16名以上の登録をしたチームは中国大会出場資格のあるD（ディビジョン）1の参加資格が与えられる。  
（16名以上の選手がいないときは、D（ディビジョン）2の部に、8人以上の登録で参加できる（地区大会のみ）。試合の成立は6名以上とする。  
人数のそろわないチーム同士による合同チームを認める。）
- 2－大会当日に、極端な身体の不調、怪我等の場合で、当日14名より少なくなったチームは、棄権となりますが、試合はオープンになります。試合の途中で少なくなったときは、欠員で行う。次の試合までに、14人以上にならなかったときは、棄権とする。リーグ戦に於いては、棄権したチームのすべての記録を白紙に戻す。
- 3－14人の時1P、2Pは、（8人－6人、6人－8人、7人－7人、監督の裁量で。）  
15人の時は、1P、2Pは（8人－7人、7人－8人、監督の裁量で）  
3Pは8人。
- 4－第1ピリオド以上、2ピリオド以内のプレーとは、12分以上24分以内の範囲とし確認がしにくいので、ベンチに入る人数を16名にする。試合の途中で怪我や退場処分、突然の体調不良による選手の補充については、審判の判断により補充することが出来る。  
試合中の怪我により第1、2ピリオドが最後までプレー出来なかった選手が、ベンチで回復し、第3ピリオドに出場するのは可能である。  
（出来るだけ全員がプレーするのが望ましい。）
- 5－選手の2ピリオド以上（24分以上）のプレー、戦術による第1、2ピリオドの悪質な選手交代が発覚した場合、規律委員会を開催し、場合によっては、そのチーム監督は全日本少年サッカー大会にそのチーム監督として大会出場することが出来ない。
- 6－PK戦は最終ピリオドのピッチにいる選手8名で行う。  
（ベンチの選手はPK戦に参加出来ない）
- 7－試合ごとに、エントリー者を替えてよい。  
自チームの第1試合が始まるまでに登録選手の入れ替え、追加はOKとする。

\*選手も指導者、サポーターもフェアプレーの精神を養い、実践しましょう。